
基本おなかがすいてるウサギの話

叫び人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

基本おなががすいてるウサギの話

【Nコード】

N2666R

【作者名】

叫び人

【あらすじ】

みんなもよく知る「あそこ」に住む、ウサギの日常を描いた短編集です。（都合上連載小説にしています）

あるところに

あるところにウサギがいました。

「あるところ」とはみんなもよく知るあそのことです。

ウサギはそこで、今日もおもちをついていました。

ぺったん、ぺったん。

そら、ぺったん、ぺったん。

「よう！ 今日もせいがでるねえ！」

ぺっ……。

ウサギは手を止め、声がした方向——右斜めそれなりに下——に顔を向けました。

そこには、カニがいました。

「こんにちはカニさん。お鍋が食べたいです」

「いきなりなにいつてんだてめえ」

ウサギは言うなりカニをがしつ！と驚掴みに捕まえ——「いつ！？」——て、近くにあったお鍋に放り込みました。お鍋には言うまでもなく、熱いお湯がぐらぐらと——「あつう！？——煮えたぎっています。」

ウサギは鼻歌交じりにまたもちをつき始めました。

すると、そこに近所に住むおばあさんがやってきました。

「あらあらまあまあ。いいにおい。本を読むのは少しお休みしようかしら」

「こんにちはおばあさん。今日はカニ鍋です」

「まあ。じゃあ家から何か持ってこようかしら。ウサギちゃんはお好き？」

「好きです」

ウサギはうれしそうな顔をして——「ちょ、タンマ！ 鍋の話してなかったか今！？　なんでチヨコ！？　なんで！？」という叫びを耳にすることなく——答えました。おばあさんは喜んで、いそいそと家へもどって行きました。

あともう少しで、鍋パーティの始まりです。

あるところに（後書き）

月の話。

ウサギ……もちつきしてる。いつもおなかすいてる。

カニ……出汁役。苦勞人ならぬ苦勞ガニ。

おばあさん……朗らかな天然（ボケではない、はず）

読んでくださってありがとうございました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2666r/>

基本おなかがすいてるウサギの話

2011年10月8日16時49分発行